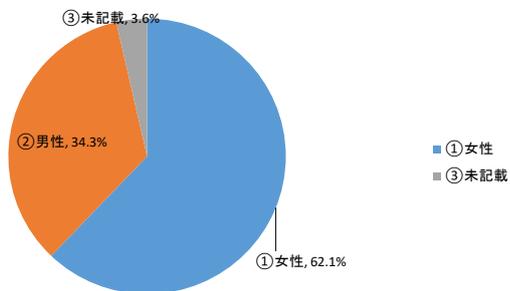


国分寺市もたちプラザ施設利用者アンケート集計
総回答数 140

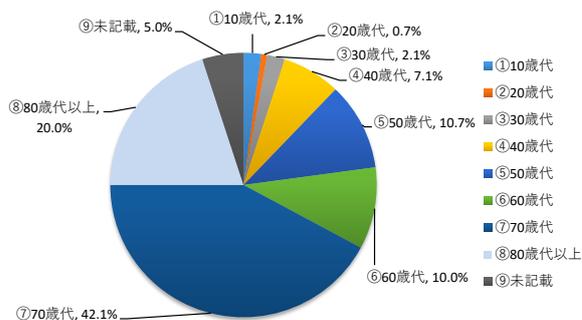
(令和4年10月7日～11月25日実施分)

1	(1) 性別	①女性	②男性	③未記載	合計
		87	48	5	140
		62.1%	34.3%	3.6%	100.0%



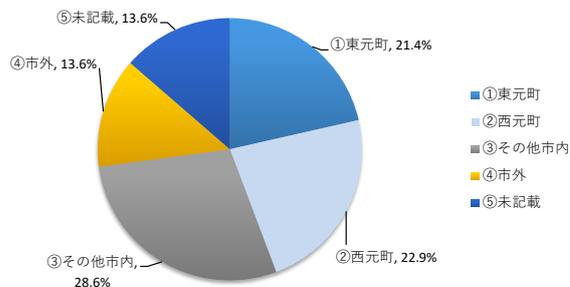
利用者の性別は、「女性」が多いという傾向に変わりはなく、全体に占める割合もほぼ昨年と同様であった。
(男性の割合を過去3年間で見てみると、R2/18.2% →R3/34.1% →R4/34.3%)
コロナ禍により、新規団体がいないため、利用団体が固定化され、前年度と同様の男女比率となったものと思われる。

1	(2) 年代	①10歳代	②20歳代	③30歳代	④40歳代	⑤50歳代	⑥60歳代	⑦70歳代	⑧80歳代以上	⑨未記載	合計
		3	1	3	10	15	14	59	28	7	140
		2.1%	0.7%	2.1%	7.1%	10.7%	10.0%	42.1%	20.0%	5.0%	100.0%



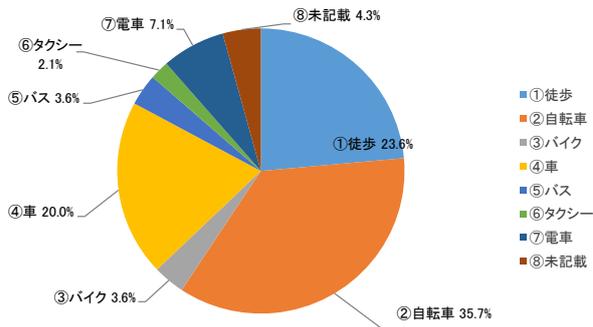
利用者の年代は「70歳代」が約42%と最も多く、「80歳代以上」がこれに続いたが、以下「50歳代」「60歳代」の順となった。
例年上位3位までを「60歳代」以上で占めていたが、今回は「50歳代」が割って入った結果となった。
しかしながら、「50歳代」以上の利用者の割合を過去3年間で見てみると、R2/78.4% →R3/79% →R4/82.9%となり、高齢者の割合が圧倒的に多い傾向に大きな変化は見られなかった。
若年層の利用が少ない状況ではあるが、今後は自主事業の内容を工夫し、若年層の利用の促進に努めていきたい。

		国分寺市内											
		北町	東戸倉	戸倉	新町	並木町	本多	本町	西恋ヶ窪	東恋ヶ窪	南町	東元町	西元町
1	(3) 住所	1	0	2	3	2	4	3	1	4	4	30	32
		0.7%	0.0%	1.4%	2.1%	1.4%	2.9%	2.1%	0.7%	2.9%	2.9%	21.4%	22.9%
		国分寺市内							府中市	小金井市	小平市	東久留米市	日野市
		7	2	3	0	1	3	0	4	2	4	1	1
		5.0%	1.4%	2.1%	0.0%	0.7%	2.1%	0.0%	2.9%	1.4%	2.9%	0.7%	0.7%
		武蔵野市	三鷹市	世田谷区	相模原市	横浜市						未記載	合計
		1	2	1	2	1						19	140
		0.7%	1.4%	0.7%	1.4%	0.7%						13.6%	100.0%



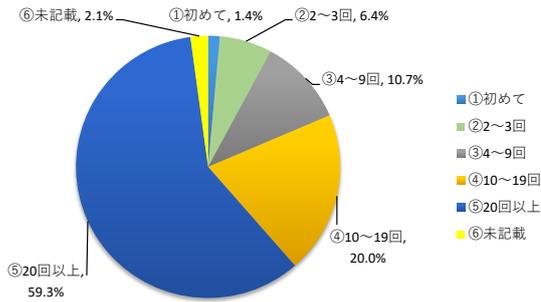
利用者の住所は地元である「東元町」「西元町」で約44%となり、前年度より約4%増加した。一方、「その他市内」と「市外」については、いずれも約4%前後減となった。（結果的に今年度は、過去3年間のほぼ平均値的な数値となった。）
 コロナの影響で年度ごとに多少の変動はあったものと思われるが、本施設の場合はアクセス面などの影響もあることから、地元中心の利用傾向に基本的には変化は無かったと考えられる。

		①徒歩	②自転車	③バイク	④車	⑤バス	⑥タクシー	⑦電車	⑧未記載	合計
		1	33	50	5	28	5	3	10	6
		23.6%	35.7%	3.6%	20.0%	3.6%	2.1%	7.1%	4.3%	100.0%



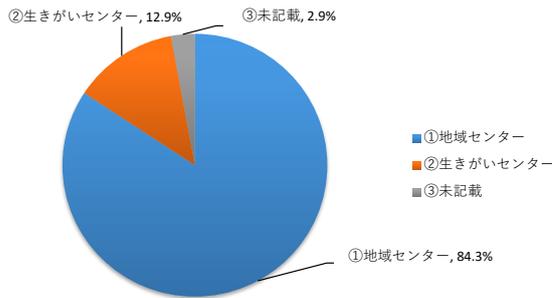
利用者の交通手段は地元中心の利用者が多いことから、「徒歩」と「自転車」で約60%を占めていた。次いで、「車」が20%、それ以外で約16%となった。選択肢として前回から「バイク」を、今回から「タクシー」を新たに加えたところ、合わせて約6%程度あり、様々なアクセス手段を使用して本施設を利用している実態が確認できた。

1	(5) 利用回数 (年間)	①初めて	②2～3回	③4～9回	④10～19回	⑤20回以上	⑥未記載	合計
		2	9	15	28	83	3	140
		1.4%	6.4%	10.7%	20.0%	59.3%	2.1%	100.0%



利用回数については、「20回以上」が約60%を占めており、リピーターの利用が非常に多い現状が窺える。
(この傾向は過去3年間とも同様)
一方「初めて」「2～3回」という利用者は合わせても約8%程度といった状況であり、前年度とほぼ同様の結果となった。
1(2)の若年層の利用拡大と同様の課題となるが、新規利用者を増やすような自主事業（講座やイベント）の実施が継続的に必要と考えられる。

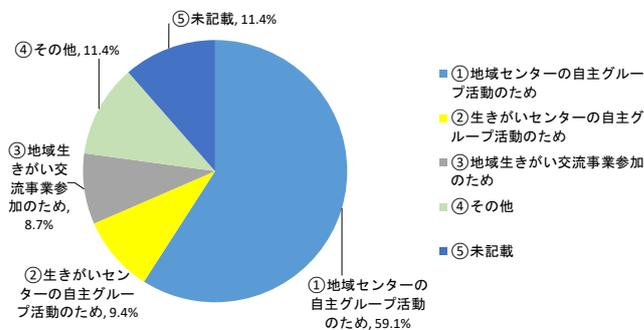
1	(6) 利用施設	①もともち地域センター	②生きがいセンターもともち	③未記載	合計
		118	18	4	140
		84.3%	12.9%	2.9%	100.0%



主な利用施設について、前回同様「地域センター」又は「生きがいセンター」の2択として、より明確な実態把握を行った。
その結果、「地域センター」が約84%を占め、「生きがいセンター」が約13%となった。
前年度よりも地域センターを利用すると回答した人の割合が増加した。

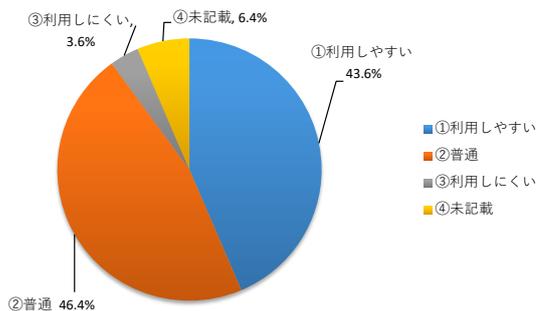
1	(7) 利用目的	①地域センターの自主グループ活動のため	②生きがいセンターの自主グループ活動のため	③地域生きがい交流事業参加のため	④その他	⑤未記載	合計
		88	14	13	17	17	149
		59.1%	9.4%	8.7%	11.4%	11.4%	100.0%

複数回答可



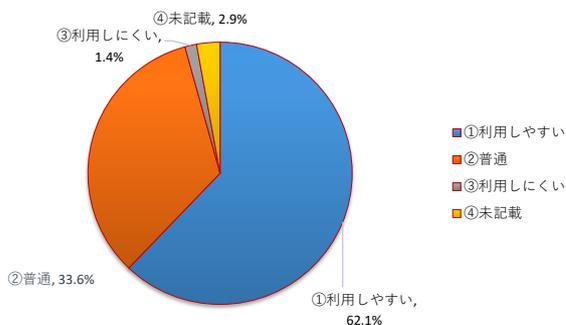
利用の目的については、「地域センターの自主グループ活動」が最も多く約59%となった。次いで「生きがいセンターの自主グループ活動」が9%強、「地域生きがい交流事業参加」が9%弱と続く結果となった。
同じ選択肢で実施した昨年度の結果とも類似した結果となり、本施設が「地域センターの自主グループ」を主体に利用されている実態を確認する結果となった。

2	利用する際の手続き・申し込み方法	①利用しやすい	②普通	③利用しにくい	④未記載	合計
		61	65	5	9	140
		43.6%	46.4%	3.6%	6.4%	100.0%



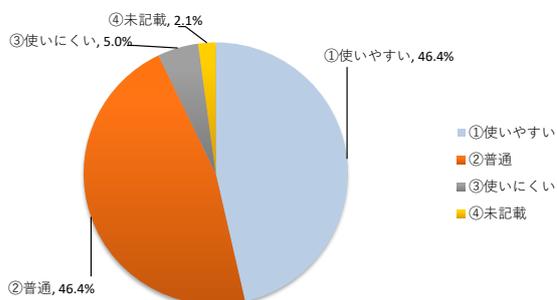
利用する際の手続きについては、回答の選択肢を前年度の「①非常にスムーズ、②スムーズ、③やや苦労した、④非常に苦労した」から「①利用しやすい、②普通、③利用しにくい」に変更したことから、好意的な評価（R3①+②、R4①）をした割合を比較すると、79%から43.6%に減少したが、今年度から新たに追加した「②普通」を好意的な評価として捉えると、79%から90%に増加した。
利用する際の手続きに対する評価は、着実に向上してきていると思われる。
近々予約システムの新システムへの移行などが予定されていることから、今後は利用者の更なる利便性向上に向け、きめ細かい対応を心がけていきたい。

3	施設の開館日・時間	①利用しやすい	②普通	③利用しにくい	④未記載	合計
		87	47	2	4	140
		62.1%	33.6%	1.4%	2.9%	100.0%



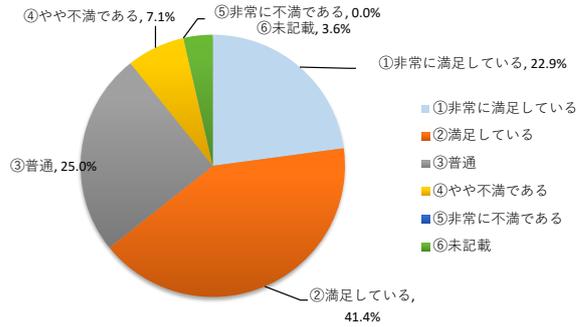
施設の開館日・開館時間については、回答の選択肢を前年度の「①非常に利用しやすい、②利用しやすい、③やや使いにくい、④非常に使いにくい」から「①利用しやすい、②普通、利用しにくい」に変更したことから、好意的な評価（R3①+②、R4①）をした割合を比較すると、91.6%から62.1%に減少したが、今年度から新たに追加した「②普通」を好意的な評価として捉えると、91.6%から95.7%に増加した。
また、否定的な評価（R3③+④、R4③）をした割合を見ると、7.2%から1.4%に減少していた。
このことから、現行の開館日・時間については、利用者への理解が進みつつあると思われる。

4	施設内設備の使いやすさ	①使いやすい	②普通	③使いにくい	④未記載	合計
		65	65	7	3	140
		46.4%	46.4%	5.0%	2.1%	100.0%



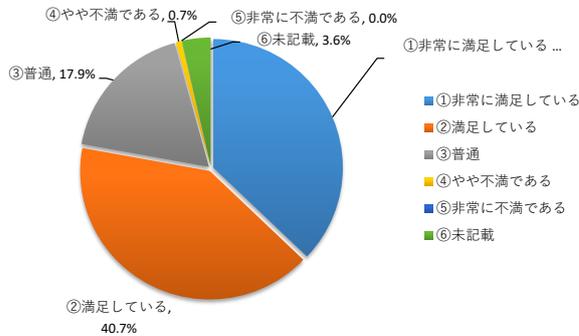
施設内設備の使いやすさについては、回答の選択肢を前年度の「①非常に使いやすい、②使いやすい、③やや使いにくい、④使いにくい」から「①使いやすい、②普通、③使いにくい」に変更したことから、好意的な評価（R3①+②、R4①）をした割合の比較では、86.8%から46.4%と大きく減少したが、今年度から新たに追加した「普通②」を好意的な評価として捉えると、86.8%から92.9%に増加した。
また、否定的評価（R3③+④、R4③）をした割合を見ると、10.8%から5%に減少していた。
このことから、設備の使いやすさについては、利用者満足度が改善傾向を示していると思われる。
ただし、コメント欄では、毎回のことではあるが「近隣住民の騒音クレーム」「トイレ等の施設が古い」などの意見が多く出されていた。

5	施設の清潔性、安全性	①非常に満足している	②満足している	③普通	④やや不満である	⑤非常に不満である	⑥未記載	合計
		32	58	35	10	0	5	140
		22.9%	41.4%	25.0%	7.1%	0.0%	3.6%	100.0%



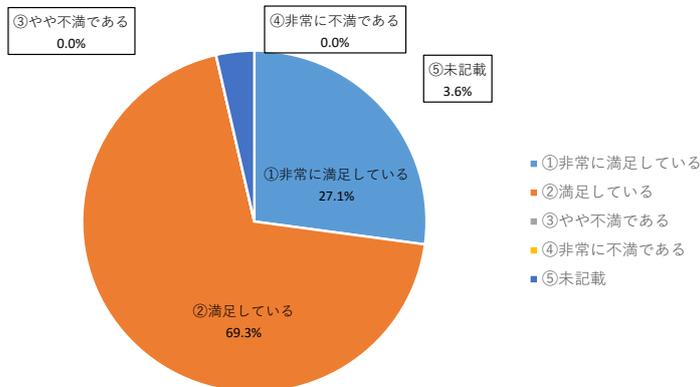
施設の清潔性、安全性については、回答の選択肢を前年度の「①非常に満足している、②満足している、③やや不満である、④非常に不満である」から「①非常に満足している、②満足している、③普通、④やや不満である、⑤非常に不満である」に変更したことから、好意的な評価（R3①+②、R4①+②）をした割合を比較すると、88%から64.3%に減少したが、今年度から新たに追加した「③普通」を好意的な評価として捉えると、88%から89.3%に増加した。結果的に前年度と同程度の評価を維持できていると考えられる。今後も常に清潔で安全な環境の維持に継続して努力していきたい。

6	職員のマナー、言葉遣い、服装	①非常に満足している	②満足している	③普通	④やや不満である	⑤非常に不満である	⑥未記載	合計
		52	57	25	1	0	5	140
		37.1%	40.7%	17.9%	0.7%	0.0%	3.6%	100.0%



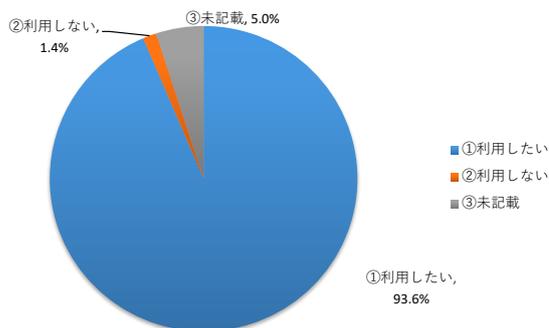
職員対応についても、回答の選択肢を前年度の「①非常に満足している、②満足している、③やや不満である、④非常に不満である」から「①非常に満足している、②満足している、③普通、④やや不満である、⑤非常に不満である」に変更したことから、好意的な評価（R3①+②、R4①+②）をした割合を比較すると、96.4%から77.9%に大幅に減少したが、今年度から新たに追加した「③普通」を好意的な評価として捉えると、96.4%から95.7%と微減に留まった。R2/88.6%、R3/96.4%と比較するとバラつきはあるものの、ほぼ同程度の水準は維持できていると考えられる。過去3年間で見ても否定的な評価は非常に少ない状況ではあるが、今後も引き続き親切な利用者対応を徹底し、施設利用満足度のより一層の向上を図っていきたい。

7	総合的な満足度	①非常に満足している	②満足している	③やや不満である	④非常に不満である	⑤未記載	合計
		38	97	0	0	5	140
		27.1%	69.3%	0.0%	0.0%	3.6%	100.0%



好意的な評価（①+②）をした割合を比較すると、94%から96.4%に増加した。過去3年間でも同様の傾向を示しており、僅かではあるが総合的な満足度は向上しつつあると思われる。今年度は否定的な評価をする人も無く、またコメント欄への記載なども見られなかった。

8	今後の利用	①利用したい	②利用しない	③未記載	合計
		131	2	7	140
		93.6%	1.4%	5.0%	100.0%



今後の利用については「①利用したい」が93.6%を占めた。また例年「②利用しない」という回答は無かったが、今回は二人の利用者から回答があった。

9	参加したい講座	パソコン	ダンス	(笑い) ヨガ	体操	歌 (カラオケ)	絵手紙	小筆	ペン書字	太極拳	詩吟	オイリュトミー	複数回答あり
		3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	
		スマホ	チェアタップ	居合道	ウクレレ	ピラティス	手話					その他	
		1	1	1	1	1					3	26	

(注) 「その他」は、具体的な講座名の記載の無いもの (例「今のままの講座」「参加者が交流できる事業」等)

参加したい講座については、「パソコン」「ダンス」「(笑い) ヨガ」「体操」「歌 (カラオケ)」に2件以上の回答があった。また、1件のみではあるが、「絵手紙」「小筆」「ペン書字」をはじめ12種類の多様な回答があった。

例年50%前後を占める運動系の講座 (ダンス、(笑い) ヨガ、体操、太極拳、オイリュトミー、チェアタップ、居合道、ピラティス) は、今回は11件 (約42%) であったが、内訳は8種類の合計となっており、より多様化の傾向を示してきている。また、音楽系 (歌 (カラオケ)、ウクレレ) の講座は、昨年20%を超えていたが、今回は3件 (11.5%) と少なくなっていた。

今後の講座の選択を行う上では、これらのアンケート結果を踏まえながら、全体のバランスやこれまでの実施経過なども加味して、参加者の増加と満足度向上を図れるよう工夫していきたい。

また、講座によっては、講師の確保や講座の実施環境整備を伴うケースもあることから、長期的で計画的な対応にも努めていきたい。